

鎌倉市特集号

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

<号外・購読者拡張版>



神奈川県議会議員

永田 まりな

未来の鎌倉のために4つのビジョン

1. 様々な形の「働く」のために

- ・神奈川県ネットワークや制度を活用し、鎌倉に雇用の場をつくります。
- ・国の進める働き方改革やテレワークの推進に取り組み、様々な働き方を応援します。
- ・女性就労に関する課題解決に取り組みます。

3. 市民の安全安心・鎌倉の環境を守るために

- ・海岸の環境、鎌倉の緑を守ります。
- ・神奈川県と連携し道路整備・渋滞解消に取り組みます。
- ・神奈川県管轄である緊急輸送道路の整備、河川の浸水対策を進め、広域での災害対策に取り組みます。

2. 子どもを産みたい、育てたいまちになるために

- ・産前産後ケアの充実に取り組み子どもを産み育てる環境を整えます。
- ・教育環境(学校設備、学童、特別支援学級)の充実に取り組みます。
- ・予期せぬ妊娠など困難な立場にある女性の相談体制の充実に取り組みます。

4. 未来へ

- ・不登校支援、留学支援を始め子どもの未来のための支援充実に取り組みます。
- ・共生社会を目指し、高齢者、障がい者福祉の充実、またLGBT、外国人を始めとするマイノリティ支援に積極的に取り組み、鎌倉から広く発信します。

4年を通し、着実に進めてきました

県議に求められていることは何か?何ができるか?この任期を通し、県政との連携を以て様々な地域の課題に取り組んで参りました。一朝一夕に解決・実現できる事案ばかりではありませんが、これからも粘り強く腰を据え、ますますの推進に全力投球して参ります。上記4つのビジョン各項目から、着実に前進を遂げた一例をご紹介します。

1. 2019年11月鎌倉に神奈川県と株式会社カヤック様が企画運営する若年層をターゲットにした企業支援拠点「HATSU 鎌倉」を開設!!

3. 子どもたちの通学路でもある県道304号(腰越大船)神戸橋交差点グリーンベルトの設置を実現!!



2. 2022年12月補正予算で妊娠期から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援の充実などを含む予算約110億円を計上!!

4. 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例〜ともに生きる社会を目指して〜の令和5年4月1日施行決定!!

4年間の歩みを、これからも

新人県議としての1期目は、新たな経験を積み重ねた4年間でした。市議時代から約10年に渡り継続している駅頭や県政報告会「まりな会」は、もはや自分のライフワークです。みなさんと共に次の鎌倉へ!



広報紙「鎌倉人」を携え
市内各駅にお邪魔しています



毎年の一般質問の他予算・決算
委員会にも登壇しました



地域みなさんと顔を合わせ
意見を交わす貴重な時間

永田 まりな 略歴

1983年2月 鎌倉生まれ(七里ガ浜在住)
聖路加幼稚園卒園、鎌倉市立七里ヶ浜小学校、私立北鎌倉女子学園中学校、
県立鎌倉高等学校卒業(部活はアメリカンフットボール部マネージャー)
2004ミス鎌倉
2006年 私立フェリス女学院大学卒業
2006年〜2012年 アナウンサーとして活動
2013年4月 鎌倉市議会議員 初当選
2017年4月 鎌倉市議会議員 2期当選
2019年4月 神奈川県議会議員 初当選 現在総務政策常任委員会所属
自民党神奈川県連遊説局長、自民党神奈川県鎌倉市連合支部幹事長

連絡先 247-0056 鎌倉市大船2-20-31 IWOビル3-A 永田まりな事務所
E-mail jimukyoku@nagata-marina.com
公式サイト <http://www.nagata-marina.com>
Facebook [nagatamarina.kamakura](https://www.facebook.com/nagatamarina.kamakura) Twitter @nagamari0219

生き方の選択肢が無限に広がる鎌倉へ

かながわ自民党の約束2023

県民とともに歩むローカルパーティーである「かながわ自民党」は、お互いを尊重し、支え合い、共に生きていける地域社会、誰一人取り残さない社会の実現を目指しています。

「かながわ自民党の約束2023」を通じ、理念をかたちに、持続可能な社会を創ってまいります。



◎県民に伝えたい「かながわ自民党」の代表的な取組

●激変する経済状況により影響を受けている事業者支援

新型コロナウイルス感染症や物価高騰に影響を受けている事業者に対し、国へ迅速な経済支援を要望し、経済を支える取組を実現。

●かながわ Pay・商店街等プレミアム商品券事業

かながわ Pay、還元総額 170 億円、決済累計金額約 1,500 億円（見込）、ダウンロード数 180 万人以上とコロナ禍や物価高騰に苦しむ消費者や事業者への支援。また、商店街等プレミアム商品券を発行することで、コロナ禍や物価高騰で売上減少に苦しむ商店街を活性化するための支援。

●神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 “～ともに生きる社会を目指して～” の制定

障がい当事者や支援者、県民、自治体、関係団体等が一体となり、オール神奈川で当事者目線の障がい福祉を推進するための基本的な規範を整備。

●急傾斜地崩壊対策事業

急傾斜地崩壊対策事業の整備を促進するため、令和 4 年度の県単独事業費については前年度比約 1.8 倍の予算を確保。

●防犯カメラ設置事業

安全で安心なまちづくりの実現のため、防犯カメラの設置に対する補助を増額し継続。

●私立高校に通う生徒への学費補助の拡充

令和 4 年度から、年収約 800 万円未満までの多子世帯の授業料実質無償化と年収約 910 万円未満までの多子世帯の授業料一部補助を実現。

※多子世帯・・・15 歳以上 23 歳未満の扶養している子供（中学生を除く）が 3 人以上いる世帯

●教育相談体制の充実

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置など、不登校・いじめなどに対する相談体制を拡充。

●通学路の安全対策

交通安全教育を推進するとともに、市町村と県が連携した通学路の安全確保の取組への支援。

●特別支援教育の推進

令和 2 年 4 月におおば支援学校を開校、令和 3 年 9 月に小田原養護学校湯河原校舎を開設。

令和 10 年度を目途に、旧川崎市立河原町小学校跡地に特別支援学校を新設、旧県立総合教育センター亀井野庁舎跡地を活用した藤沢養護学校への肢体不自由教育部門の併置を予定。また、旧横浜市立菅田小学校跡地に特別支援学校を新設予定。



①SDGs 持続可能な社会を目指す



④災害・犯罪から県民を守る

- ◆災害に強い県土をつくる
- ◆不適切な建設残土処理の規制強化と適正処理の推進
- ◆犯罪のない地域づくり
- ◆安心して暮らせる地域づくり



②県民の生活を支える経済・産業を守る

- ◆新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける事業者支援
- ◆中小企業・小規模事業者等の経営支援
- ◆中小企業・小規模事業者等の資金繰り支援
- ◆希望に沿った職を確保し、安定した生活が送れる就労支援



⑤活力と魅力あふれる地域をつくる

- ◆持続可能な農林水産業の推進
- ◆地域の魅力を国内外に発信する観光戦略の推進
- ◆経済活性化と SDGs に資する 2027 年国際園芸博覧会に向けた取組
- ◆もっと便利に！暮らしと経済を支える道路の整備
- ◆もっと速く！地域をつなぐ交通ネットワークの整備



③県民に寄り添う医療・福祉の充実

- ◆新型コロナウイルス感染症対応と通常医療の両立
- ◆患者の負担を軽減した治療とがん対策の推進
- ◆誰もが安心して医療を受けられる地域医療供給体制の構築
- ◆全身疾患に大きく影響する口腔ケアの促進
- ◆医療・介護人材の育成・確保
- ◆神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 “～ともに生きる社会を目指して～” の実効性確保に向けた取組の推進



かながわ自民党政策集はこちら▶



⑥みんなが楽しめる文化・スポーツをつくる

- ◆文化芸術活動の振興と文化施設の整備
- ◆生涯スポーツの実現に向けた取組
- ◆スポーツ実施率の向上や子供の体力向上への取組



⑦子供たちの未来をひろげる

- ◆幼児教育から小中高、大学、専門学校と切れ目ない支援制度の拡充
- ◆公立学校における部活動の地域移行の着実な推進
- ◆子供たちがのびのびと走り回れる県立都市公園の整備
- ◆特別支援教育の推進
- ◆子供の貧困対策の取組



かながわ自民党は「北朝鮮による日本人拉致問題の早期全面解決」を目指します。

機関紙「自由民主」で購読

かながわ自民党

検索

自由民主のご購読を希望される方はホームページをご覧ください。

